【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	作業·健康
	開講時期	後期	必修·選択	選択
	単位数	t	時間数	30

|<概要>

要介護者の心身の変化に対する観察能力を身につけるとともに、それらの変化に的確に対処するために必要な基本的な介護技術を習得す

<学習目標>

- 1. 介護を必要とする人の気持ちを理解する。
- 2. 介護実践におけるコミュニケーションのあり方を学ぶ。
- 3. 残存機能を活かした介護技法を習得する。
- 4. 日常生活支援に必要な介護技術の基本を習得する。

四 数		授業計画又は	学習の主題		SBO 番号	 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	トランスファー(移動	移乗介護)の基本を学ぶ	•			講義
2	端座位・側臥位への介	助技法及び車椅子介助・	歩行介助・ガイドヘルプの	技法を身につける。		実習
3	褥瘡予防・感染予防に		講義			
4	リネン交換・更衣介助	の技法を習得する。				実習
5	身体状況に対応した排	泄介助のあり方を学ぶと	ともに排泄介護の基本技法	を学ぶ。		講義
6	ポータブル排泄介助・	布おむつ、紙おむつ交換の	の技法を習得する。			実習
7	入浴介助の意義と方法	の知識を学ぶとともに障	害別の介助技法を習得する	•		講義
8	足浴・手浴・ドライシ	·ャンプー・爪きり・ひげ	そり・洗面の技法を習得す	る。		実習
9	身体状況に応じた食事	形態及び食事介助のあり	方を学ぶ。			講義
10	座位及び仰臥位におけ	する一部介助・全介助での	食事介助の技法と口腔ケア	の技法を習得する	:	実習
11	緊急時の職種間連携の)必要性と緊急時対応に必	要な知識を習得する。			講義
12	心肺蘇生・止血・ハイム	,リック法・包帯法・昏睡(本位のとり方・吸引器の使用	月方法等を学習する	ò.	実習
13	13 要介護者の介護計画の立案方法及び社会資源の把握と活用、職種間連携の方法を学ぶ。					講義
14	要介護者の介護計画に	:必要なアセスメント項目	を考察し介護計画立案のた	めのカンファレン	ス	実習
	を行う。					
	【使用図書】	<書名>		<発行所>	L	<u> </u>

【使用図書】	<醬名>	<著者名>		<発行年・価格・その他>	
教科書	『知っておきたい介護技術の	D基本』、 岩橋成子(著)、 誠信書房、	2001年発行、 2,000円	
参考書	随時紹介				_
その他の資料	必要に応じて配布				

【評価方法】

【履修上の留意点】

出席状況・小レポート (ほぼ毎回実施)・授業態 試験またはレポートから総合的に評価する。

出席状況・小レポート(ほぼ毎回実施)・授業態[*動きやすい服装で出席すること。積極的・協調的なグループ実習を行うこと。

- *講義と実習が1セットの2時限連続授業である。(7回授業)
- * 教科書で予習を行ったうえで授業に臨むこと。